

みえの学力向上県民運動 基本方針

平成24年11月

三重県・三重県教育委員会

＜基本理念＞

激動の時代にあって、次世代を担う子どもたちには、自らの夢の実現を目指し、主体的に学び、自信と意欲、高い志を持って輝く未来を切り拓いていく力（自立する力）とともに、グローバルな視点を持って、他者との関わりの中で、共に支え合い、新しい社会を創造していく力（共に生きる力）が求められます。

子どもたちの大いなる可能性を引き出すとともに、強みを伸ばし支えていくことは、子どもに関わる全ての大人の役割と責任です。

学校、家庭、地域がそれぞれの役割を認識するとともに、県民一人ひとりが当事者意識を持ち、教育力を高めながら、一体となって子どもたちの学力を一層育てていくため、平成24年度から4年間、「みえの学力向上県民運動」を実施します。

＜取組の視点＞

みえの学力向上県民運動は、次の3点を取組の視点として進めます。

1. 「主体的に学び行動する意欲」を育てます

子どもたちの学力の向上を図るため、基礎的・基本的な知識・技能の習得やそれらを活用する力の育成とともに、主体的に学び行動する意欲を育てます。

特に、実生活への知識・技能の活用や課題発見・解決力、コミュニケーション力といった「今、求められている力」を意識し、子どもたちの発達段階に応じた学ぶ喜び、わかる楽しさを実感させる授業改善等の取組を進めるとともに、夢や目標を持ち、失敗をおそれず難しいことにも挑戦する子どもたちを、県民が一丸となって育てます。

2. 「学びと育ちの環境づくり」を進めます

子どもたちは社会全体で育まれていくものであるという考え方のもと、社会のあらゆる場で多様な主体が教育に取り組む「みえの学び場」づくりを進めます。

特に、三重の豊かな自然、文化、産業など、地域の多様な資源を最大限生かしながら、子どもたちが自己肯定感・自尊感情を持ち、安心して学び、生活できる環境づくりや、地域における子どもたちの居場所づくりなどに取り組みます。

また、家庭の教育力を高め、子どもたちの勉強時間の確保や規則正しい生活といった学習習慣、生活習慣を確立するとともに、地域による学習支援を進めるなど、地域ぐるみで子どもたちの学びと育ちを支えます。

3. 「読書をとおした学び」を進めます

読書は、知的活動（論理や思考）やコミュニケーション、感性・情緒の基盤をなす言語に関する能力を育む上で欠くことのできないものであり、子どもたちの生涯にわたる読書習慣を育成します。

特に、読書活動を通じて、子どもたちに言語に関する能力や豊かな心を育むとともに、全ての学年で言語活動を推進し、学校図書館等を活用した授業づくりを進めます。また、大人自身が率先して読書を行い、子どもたちとともに夢があふれる社会を創出します。